年間授業計画 様式例

高等学校 令和６年度　（３学年用）　教科　地歴公民　科目　地理総合

教　科：　地歴公民　　科　目：　地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3　学年　１組～　６組

教科担当者：　１組：石井美菜子　２組：熊川雪路　３組：大槻　研　４組：熊川雪路　５組：大槻　研　６組：石川孝行

使用教科書：　高等学校　新地理総合（帝国 地総７０３）標準高等地図（帝国 地図７０３）

教科　地歴公民　の目標：

【知識及び技能】　・現代世界の地域的特色や日本及び世界の歴史の展開について理解する。
・調査や諸資料から様々な情報を適切に調べ、表現する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　・地理や歴史に関わる事象の意味や相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会にみられる課題の解決に向けて構想する。また考察・構想したことを効果的に説明し、それらをもとに議論する。

【学びに向かう力、人間性等】　・地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付ける。多面的・多角的な考察や深い理解を通して、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目　地理総合　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 ・地図や地理情報システム（GIS）を用いて、調査や諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	・地理に関わる事象の意味や特色、相互の関連を、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用などに着目して、多面的・多角的に考察する。 ・地理的な課題の解決に向けて考察し、構想したことを効果的に説明し議論できる。	・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとする態度を身に付ける。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	地図でとらえる現代世界 （1）地図と地理情報システム 【知】現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【態】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	１大陸・海洋・州の確認 ２地球上の位置と時差 ３地図の役割と種類 【一人１台端末の活用】	【知】さまざまな地図の読図ができ、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな情報を地図や地理情報システムなどを用いて、情報の収集、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思】地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、適切な活用の仕方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	13
	１学期中間考査			○	○		1
	地図でとらえる現代世界 （2）結びつきを強める現代世界 【知】現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解する。 【思】現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きを多面的・多角的に考察し、表現する。 【態】結びつきを強める現代世界について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	１現代世界の国家と領域 ２グローバル化する世界 【一人１台端末の活用】	【知】現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思】現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	15
	１学期末考査			○	○		1

2学期	国際理解と国際協力 （1）生活文化の多様性と国際理解 【知】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。また、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【態】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 世界の地形と人々の生活 2 世界の気候と人々の生活 3 世界の言語・宗教と人々の生活 4 歴史的背景と人々の生活 5 世界の産業と人々の生活 【一人１台端末の活用】	【知】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思】世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。				13
	２学期中間考査						1
	国際理解と国際協力 （2）地球的課題と国際協力 【知】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題を基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性について大観し理解し、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解する。 【思】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりに着目て、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性を多面的・多角的に考察し、表現する。 【態】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 複雑に絡み合う地球的課題 2 地球環境問題 3 資源・エネルギー問題 4 人口問題 5 食糧問題 6 都市・居住問題 【一人１台端末の活用】	【知】世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性について大観し理解している。世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて理解している。 【思】世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性を多面的・多角的に考察し、表現している。 【態】地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。				15
	２学期末考査						1

3学期	持続可能な地域づくりと私たち （1）自然環境と防災 【知】日本や世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性について理解する。様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。 【思】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【態】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1 日本の自然環境 2 地震・津波と防災 3 火山災害と防災 4 気象災害と防災 5 自然災害への備え 【一人１台端末の活用】	【知】我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性について理解している。さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 【思】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応を多面的・多角的に考察し表現している。 【態】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。				17
	持続可能な地域づくりと私たち （2）生活圏の調査と地域の展望 【知】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解する。 【思】生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【態】生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	1　地理的な課題と地域調査 2　現地調査の準備 3　現地調査の実施 4　調査の分析と発表 【一人1台端末の活用】	【知】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思】生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【態】生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。				
	年度末考査						1
							合計 78